

令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

岩手県高等学校体育連盟体操専門部

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、主催者は以下に示す感染防止対策を講じます。

【基本的な考え方】

- 1 開催判断については、①緊急事態宣言の解除、②国や自治体からイベントの開催が認められていること（ガイドラインを遵守）、を前提に高体連事務局ならびに競技団体と協議のうえ決定・実施する。

【具体的対策】

- 1 三密（密閉、密集、密接）の回避
室内換気の徹底し、待機場所等においては身体距離を確保できるスペースを用意する。
- 2 競技会役員・審判員・監督・選手・コーチ・補助員には、検温・身体症状の有無を報告させ、その情報を管理する。
- 3 すべての大会関係者にマスク等の着用を徹底させる。但し、熱中症予防のため、マスク等を外す指示を行う。
- 4 競技場内にスプレータイプの除菌剤を設置し、除菌を徹底する。
- 5 各学校には、チーム関係者（選手、監督、マネージャー）の大会当日の検温結果及び身体症状の有無を記録させ、提出させる。
- 6 発熱等、新型コロナウイルス感染症と思われる身体症状を訴えた選手、大会役員、競技役員、補助員を一時的に隔離するスペースを設ける。
- 7 参加者に対する感染防止対策の徹底について、放送を利用した注意喚起を定期的実施する。

【参加される全ての皆様へのお願い】

参加される皆様すべて、以下の事項のいずれかに該当する場合は、大会参加を自主的に見合わせてください。大会当日に体調管理チェック表の提出をお願いします。

- 新型コロナウイルス感染症の身体症状が確認された場合や体調がよくない場合
(例：37℃を超える発熱、倦怠感や関節痛、咳、咽頭痛、嗅覚・味覚障害など)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）より、陽性者との接触可能性が通知された場合
- 感染症に対して不安がある場合

なお、社会情勢の急変により、大会の中止、参加の制限、中途での中止も想定されるということについてお含み置きください。

【選手の皆様へ】

- 1 大会参加に際しては、保護者、所属校の同意を得てください。
- 2 発熱がなくとも、風邪の症状のある場合は参加を見合わせてください。
- 3 各自で『検温』『マスクの着用』『手洗い』『手指消毒』の徹底をしてください。
- 4 待機場所や更衣室等で、密接場面が生じないよう気を配ってください。
- 5 ウォーミングアップは極力個々に行ってください。
- 6 自分の荷物は自分で管理し、他の人には触れさせないでください。
- 7 自分の物（タオル、ペットボトル等）のみ使用し、絶対に共用はしないでください。
- 8 競技後は手洗い・手指の消毒・除菌をしてください。
- 9 運動中につばや痰を吐くことは極力行わないようにしてください。
- 10 体液の付着したゴミは自己の責任で持ち帰ってください。
- 11 急な発熱や体調不良等があれば、すぐに大会本部まで連絡してください。

【監督・顧問・チーム関係者の皆様へ】

- 1 普段からチーム内や学校での検温、健康チェックを徹底してください。大会当日は、チーム関係者の検温結果及び身体症状のチェック表を提出していただきます。
- 2 普段から『十分な睡眠』『バランスのとれた食事』『適度な休養』等、規則的な生活を心がけてください。
- 3 『検温』『マスクの着用』『手洗い』『手指消毒』の徹底をお願いします。
- 4 他校との待機場所・更衣室等での間隔を十分に空けてください。
- 5 競技場内では、競技やウォーミングアップ等の運動場面を除き、他者との距離を十分に確保できない場合は必ずマスクを着用してください。
- 6 競技者に付き添う場合の競技者との接触、距離の確保、会話（大声を出さない）に注意してください。
- 7 声を出しての応援、集団での応援は行わないようにしてください。
- 8 宿舎においても感染防止対策の徹底、指導をお願いします。
- 9 基本、炭酸マグネシウムはチーム若しくは個人で持参願います。会場には炭酸マグネシウムの準備はしていますが、会場の炭酸マグネシウムを使いたい場合には、共用を避けたいと思いますので各自、袋等をご準備ください。